



今後の主なイベント予定



世界少年野球大会 福島大会

日程 7月30日(火)
～8月7日(水)

第29回世界少年野球大会があづま総合運動公園で開催されます。東京2020オリンピックで野球・ソフトボールの競技開催地となる福島市にて、世界14か国・地域から少年少女を招待し、9日間開催します。野球教室には日本を含む13か国から120名が参加。



オリンピックデー・ フェスタin福島

日程 9月14日(土)

オリンピックと県内の子どもたちがスポーツ(運動会形式)を通じて交流する、オリンピックデー・フェスタを9月14日、あづま総合運動公園・補助陸上競技場で開催します。

参加を希望する人は、「ふくしまプラス2020」で詳細をご確認ください。



イースタン・リーグ公式戦 楽天イーグルスvs 日本ハムファイターズ

日程 9月28日(土)

東京2020オリンピックに向け改修中のあづま球場のリニューアルオープニングゲームとして、2019プロ野球イースタン・リーグ公式戦 東北楽天ゴールデンイーグルスvs北海道日本ハムファイターズを行います。

チケットなど詳細は、「ふくしまプラス2020」で随時発表します。

東京2020テストイベント 日本女子ソフトボール 1部リーグ福島大会

日程 10月5日(土)
～10月6日(日)

東京2020オリンピックに向けて、競技や大会の運営向上を目的に開催される「東京2020テストイベント」として、野球・ソフトボール競技会場の福島あづま球場では日本女子ソフトボール1部リーグの試合が2日間開催されます。



「ふくしまプラス2020」

福島県では、東京2020大会に向けた情報を発信するポータルサイト『ふくしまプラス2020』を開設していますので、ぜひご覧ください！

また、皆様の東京2020大会に向けた取り組みの中で、当サイトへ掲載を希望するイベント等がありましたら、随時、情報提供をお願いします。



【発行日】令和元年7月23日
【発行者】東京2020オリンピック復興ふくしま推進会議事務局(県オリンピック推進室内)
【お問い合わせ】
E-mail:fuku2020@pref.fukushima.lg.jp
☎024-521-7312

The Fukushima 2020 Information

ふくしまの未来に向けたみんなのアクション VOL.6



News!

聖火リレールート発表!

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、6月1日、福島県のJヴィレッジ(楡葉町・広野町)をグランドスタートとするオリンピック聖火リレーのルート概要を発表しました。県内は浜通り、中通り、会津の計25市町村で実施されます。

2020年3月26日から28日までの3日間で聖火をつなぎ、各日リレーの最終地点では聖火の到着を祝うセレモニーである「セレブレーション」が行われる予定です。



グランドスタート会場のJヴィレッジ



【1日目】3月26日(木)

①楡葉町→②広野町→③いわき市→
④川内村→⑤富岡町→⑥大熊町→
⑦葛尾村→⑧浪江町→⑨南相馬市→
セレブレーション(雲雀ヶ原祭場地)

【2日目】3月27日(金)

⑩相馬市→⑪新地町→⑫飯館村→
⑬川俣町→⑭福島市→⑮猪苗代町→
⑯喜多方市→⑰三島町→⑱会津若松市→
セレブレーション(鶴ヶ城公園市営駐車場)

【3日目】3月28日(土)

⑲南会津町→⑳下郷町→㉑白河市→
㉒須賀川市→㉓田村市→㉔本宮市→
㉕郡山市→
セレブレーション(開成山公園自由広場)

News!

聖火台(1964年東京大会)を展示

県では、東京2020大会に向けて、県内での機運醸成を図るため、7月24日(水)から9月18日(水)にかけて、1964年東京大会の際に使用された旧国立競技場の聖火台(炬火台)の展示を行います。

期間 7月24日(水)～9月18日(水)
場所 あづま総合運動公園



観覧 無料

その他 9月14日には、炬火台の返還イベントとしてオリンピックデー・フェスタを開催予定。

News!

聖火ランナー募集!

東京2020オリンピック聖火リレーふくしま実行委員会では、福島県内で走行する東京2020オリンピック聖火リレーの聖火ランナーを募集しています。

期間 7月1日(月)～8月31日(土)

人数 59人(59市町村それぞれにゆかりのあるランナーを各1名選出)

応募方法 「TOKYO2020ふくしま情報サイト『ふくしまプラス』」のトップページから応募フォームに入り、必要事項を入力し、応募してください。または、所定の応募用紙に必要事項を記入し、郵送により送付してください。



福島県 東京2020へGo Go Go!



県は、東京オリンピック開幕555日前の1月16日に、郡山市立赤木小学校で「東京2020オリンピック・パラリンピックへGO GO GO!」を開催し、デイカウンターのお披露目式を行いました。内堀知事や大会組織委員会の室伏広治スポーツディレクターをはじめ大会関係者が出席し、全校児童の前で東京2020大会までの日数をカウントする「デイカウンター」をお披露目しました。デイカウンターは、JR福島駅を始め、県内主要7駅に設置しています。

福島県 県産木材を選手村で活用



県では、東京2020大会選手村の交流スペース「ビレッジプラザ」の建設資材として県産木材を提供しています。5月31日から出荷が始まり「福島県」と明記された木材が東京へと運ばれていきました。大会終了後は県に返還され、レガシーとして活用される予定です。

福島県 開成山野外音楽堂でライブサイト

県では、東京2020大会会期中に、競技会場外で大型スクリーンを利用した競技中継などを通じて誰もが競技観戦を楽しめる「東京2020ライブサイト」を、郡山市の開成山野外音楽堂で開催します。競技中継のほか、競技体験、公式グッズの販売なども予定しています。また、東京都と組織委員会の共催により、会津若松市の鶴ヶ城公園、いわき市のアクアマリンパークでも、東京2020ライブサイトを実施する予定です。



福島県 都市ボランティア 多くのご応募ありがとうございました!

東京2020大会で観光や交通案内を担う福島県の「都市ボランティア」への応募が目標の1,500人を達成し、2,281人の応募がありました。都市ボランティアは、オリンピックの野球・ソフトボール競技が行われる福島市のあづま球場周辺やJR福島、郡山駅など県内主要駅、ライブサイトなどで活動します。



都市ボランティアを対象としたオリエンテーションは、5月26日から7月16日にかけて15会場で開催しました。

福島県 beyond2020申請受付中



県では、東京2020大会に向けた文化プログラムの1つである「beyond2020プログラム」の認証組織となり、県内に拠点を有する団体または県内で事業・活動を行う団体を対象として認証申請を受け付けています。認証されるとbeyond2020ロゴマークの使用が可能となります。申し込みなど詳しくは、「ふくしまプラス2020」をご覧ください。



<https://www.fuku-plus2020.jp/news/news.php?id=206>

ホストタウン 福島市・郡山市・大玉村 (2カ国目) (2カ国目) がホストタウン登録

内閣官房が推進するホストタウンの新規登録が発表され、13次登録ではハンガリーの相手国として郡山市、ペルーの相手国として大玉村が、14次登録では、ベトナムの相手国として福島市がそれぞれホストタウン登録されました。

ホストタウン	福島市 (スイス、ベトナム) 会津若松市 (タイ)、郡山市 (オランダ、ハンガリー)、いわき市 (サモア)、田村市 (ネパール)、猪苗代町 (ガーナ)、大玉村 (ペルー)
復興「ありがとう」ホストタウン	喜多方市 (米国)、南相馬市 (ジブチ、台湾、米国、韓国)、本宮市 (英国)、北塩原村 (台湾)、飯館村 (ラオス)

ホストタウン 飯館中学生徒が大臣訪問



東京オリンピック・パラリンピックでラオスとの復興「ありがとう」ホストタウンである飯館村の飯館中学校生徒が、4月24日、鈴木俊一東京オリンピック・パラリンピック担当大臣を修学旅行の一環で表敬訪問し、ラオス選手団との交流促進に向け、校内にIOC(飯館オリンピック委員会)を設置して、取り組んできた活動を報告しました。

その他 伝統工芸品のライセンス商品販売中!

福島県の伝統工芸品である大堀相馬焼、白河だるま、会津木綿、赤ベコが東京2020ライセンス商品として販売されています。

各商品はオフィシャルオンラインショップや2020オフィシャルショップ「コジマ×ビックカメラ福島店」にてお買い求めいただけますので、ぜひご利用ください。



公式オンラインショップQR

その他 楽天野球団とコラボ ボールパークピクニック

県は、東京オリンピック野球・ソフトボール競技の機運醸成を図るとともに、県内の子どもたちが未来に夢を育む事業として、株式会社楽天野球団と連携し野球教室などを行う「ボールパークピクニック」を郡山市・いわき市の2会場で開催しました。

楽天イーグルスアカデミーコーチによる親子野球教室では、多くの親子連れがキャッチボールなどボールを使った運動を楽しみました。



ホストタウン 南相馬市でジブチ・台湾紹介イベント

南相馬市では、復興「ありがとう」ホストタウン推進事業として、2月2日、ホストタウンフェスタを開催しました。ジブチ共和国のアリ駐日大使や台北駐日経済文化代表処向政務部長が講演したほか、会場では、ジブチと台湾の自然や文化を写したパネル、民族衣装、民芸品などの展示もありました。



その他 ジャパンウォーク開催



東京2020大会の機運醸成と共生社会の実現を目的として、競技会場周辺をウォーキングする「ジャパンウォーク」が、6月22日、あづま総合運動公園で開催されました。イベントには、福島市内の小中学生や特別支援学校生徒など約500名が参加し、オリンピック、パラリンピックと会話を楽しみながら野球・ソフトボール競技の開催地となるあづま球場周辺をウォーキングしました。

その他 キッズアンバサダーが野球・ソフト開催PR

あづま球場で行われる東京2020オリンピック野球・ソフトボール競技をPRする県の「キッズアンバサダー」が、7月7日、仙台市の楽天生命パーク宮城でPR活動を行いました。子どもたちは、楽天イーグルス対日本ハム戦開始前に、鈴木副知事とともにグラウンド入りし、競技開催や福島の魅力アピールしました。

